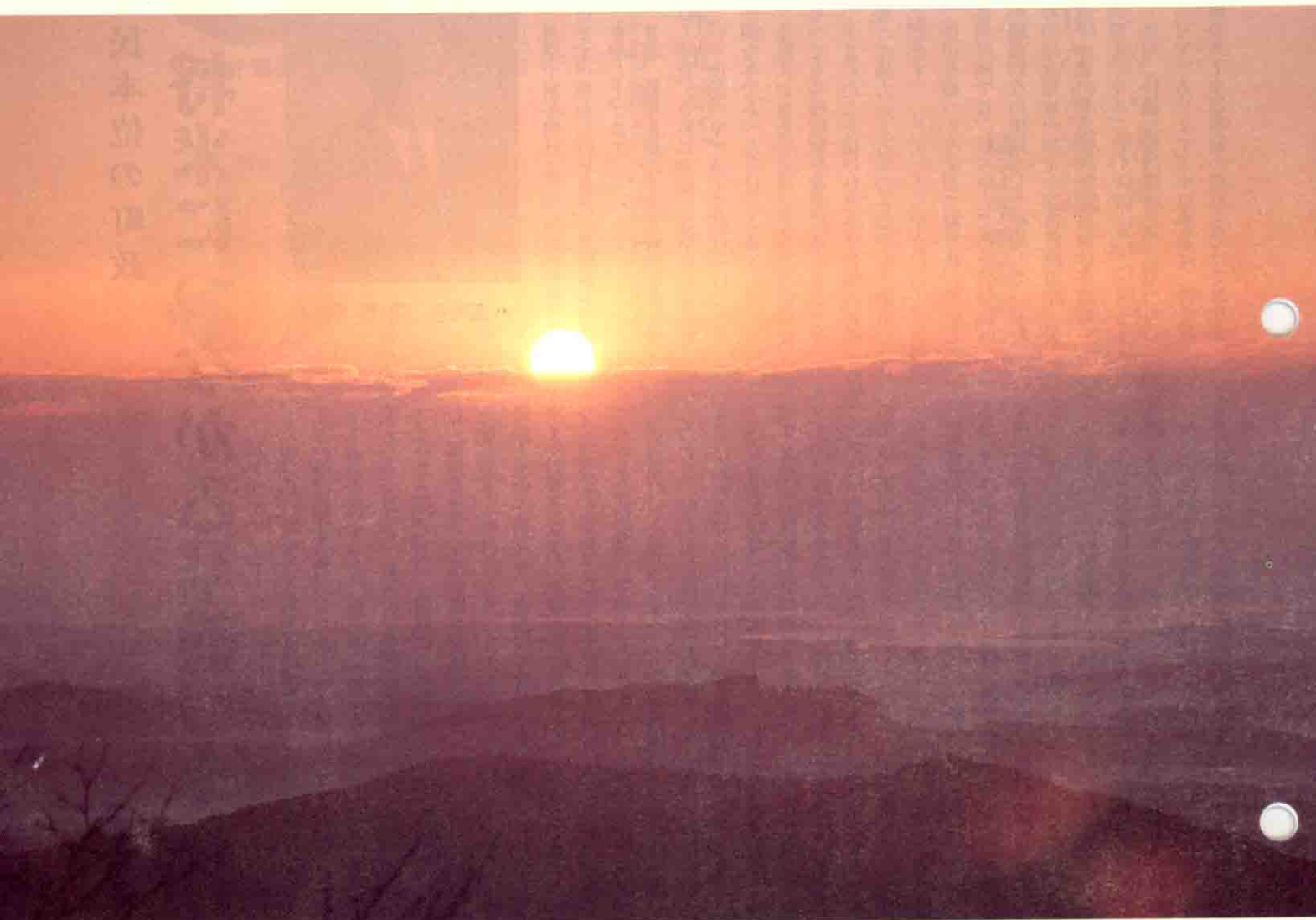


広報

やさと



初日の出に新年への期待

平成10年の新しい年が明けました。太陽はいつもと変わらず、八郷の山並みを静かに照らしながら昇ります。そのおごそかな姿は、私たちに新しい年への希望やがんばる勇気を与えてくれるようです。

1998

1

NO. 511

住民本位の町政

将来につながる基盤づくり



八郷町長 関野和夫

皆様、新年明けましておめでとうございます。輝かしい新春を迎え心からお慶びを申し上げます。

さて、昨年を顧みますと経済全体が長びく不況、さらに金融・証券の経営破綻という波乱の中で迷走を続け、けつして好調な年であったとは言えません。

本町におきましては、こうした世相にあっても各種施策を着実に進めることができましたことは、ひとえに皆様のご指導とご協力によるものと心から感謝申し上げます。

都市基盤づくりとして取り組んでいる都市計画では、町の中心である柿岡地区を理想的な市街地として整備していくための用途地域の指定や都市計画道路、公共下水道の都市計画決定に向け各方面の調整をすすめてまいりました。

また、快適な生活環境をつくるために不可欠であります下水道事業は、特定環境公共下水道事業の認可を受けておりま

した根小屋、片野、金指地区は昨年より工事に着手しました。これから町全域に下水道が完備するまで長期間にわたる事業となりますが、着実に事業推進を図ってまいります。また、道路につきましては、要望が多い生活道路の整備と併せて、上曾トンネルや県道バイパス化など県の計画との整合を図り、周辺市町村との連携を密にして重要な連絡路線の整備促進など、将来を見据えた中で、町の発展につながる道路整備に努めてまいります。

周辺市町村と連結するルートが現実化したとき、町の活性化につながる新たな産業活動の展開が図れるものと考えます。現在畜産試験場の造成工事や本町と石岡市を結ぶ道路整備が順調にすすんでおります。将来フラワーパーク方面に結ぶことによつて観光果樹園、他の観光施設の誘客にも期待がもてるものと考えます。

周辺状況の変化を的確にとらえ、農業をはじめ商工業、観光など消費者需要を考慮しながら八郷の特性を生かしていくには、新しい発想や創意工夫も必要です。将来を担う若い後継者が希望を失わず、夢をもって仕事に取り組めるよう町も積極的に支援してまいります。

少子、高齢社会を迎え、福祉・教育施策が行政の中で大きな比率を占めてくる

ことは確実です。当面、平成十二年から施行される介護保険制度に備えた事務体制の整備や受入れ体制の整備を図っていくかなければなりません。一方、障害者が積極的に社会参加ができる開かれた社会環境の形成に努めてまいります。

また、保育施設や教育環境を整え、子どもたちが人間性豊かに育つ環境をつくっていくことは、次の時代に引き継ぐ私たちの責務であると考えます。

景気低迷が続き、来年度の国や地方の財政は一段と厳しい状況にあります。緊急性や必要性を十分考慮した事業選択により、重点的にそしてまた効率的な財源の配分に努めることは言うまでもありません。さらに住民サービスを基本に、複雑化するニーズに的確に対応できる簡素で効率的な組織、機構の確立に努めなければなりません。昨年策定しました行政改革大綱の重点項目をより具体化し、皆様のご理解をいただきながら、実施に移すための計画づくりをすすめたいと考えております。

今後とも、住民本位の町政を理念として、皆様のご意見を真しに受けとめ、行政運営に努めてまいりますので、一層のご支援とご協力を賜りますようお願いし、皆様方のご健康とご多幸を祈念しまして、年頭のごあいさつといたします。

12月定例議会

8年度一般・特別会計決算認定
条例改正など審議

平成九年八郷町議会第四回定例会は、十二月十一日招集され、十九日まで九日間の日程で開かれ、提出された案件は、議案十三件、認定六件、陳情二件でしたが、陳情一件が継続審査になったほかは原案とおり可決採択されました。あらましは次のとおりです。

補正予算関係

九年度一般会計は補正予算第四号五号により歳入歳出予算総額は一〇〇億一、八九七万二千元になりました。補正予算第四号は歳入歳出それぞれ五、六〇一万一千円を追加しました。歳入のおもなものは

費県補助金が一、六万四千円の増
農林水産業費県補助金の園芸いば
らき振興推進事業補助金二、〇四〇
万円が減になるなど合わせて八一
〇万二千元の補正減でした。

また、繰越金は五、五一五万八

議長に鈴木光雄氏

副議長に伊藤昌次郎氏就任

第四回定例議会では議長、副議長の改選があり、議長に鈴木光雄氏(71)、副議長に伊藤昌次郎氏(67)がそれぞれ選出されました。鈴木氏は、平成三年に初当選、その後産業土木委員長、町監査委員、副議長などを歴任、現在

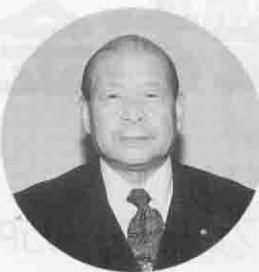
三期目です。伊藤氏は教育民生委員長、副議長、議会運営委員長などを歴任、現在四期目です。

また、各常任委員会の構成は次のように決まりました。

〔常任委員会〕

▽総務 ◎中村茂夫 ○伊藤昌次郎

鈴木光雄・上田孝之・島田重郎
▽教育民生 ◎大場俊之○嶋田
佐登子・岡崎忠・飯村嘉男・谷
島博久・吉川勇
▽産業土木 ◎川又紀征○鈴木
米造・岡寄勝巳・鬼沢隆・入江
貞一・山田保



鈴木議長

伊藤副議長

〔議会運営委員会〕

◎入江貞一○鬼沢隆・大場俊之
川又紀征・中村茂夫・上田孝之
吉川勇・山田保
(◎委員長○副委員長・敬称略)

千円が補正増になりました。

歳出では、人事院勧告に基づく職員の給与改定に伴った補正、農林水産業費では園芸振興費の野菜産地グレードアップ整備事業補助金が一、五〇〇万円の減でした。教育費では、小型焼却炉で焼却した場合ダイオキシンの発生率が高いことから、学校ではごみを燃やさずに収集日まで保管し

ておくことになっています。そのため、紙を細かくするシュレッタと保管庫をそれぞれの学校に設置する経費などが補正されました。補正予算第五号は、昨年小幡地区で掘削し湧出した温泉の用地と権利購入のための予算九、〇〇〇万円を補正増したものです。

条例その他

町営住宅管理条例が全面的に改正されました。この中では、所得に応じた家賃の設定ができる、連帯保証人を二人から一人とした、社会福祉事業等の活用を認めることができる、駐車場が明確に位置付けられたことなどが改正のポイントとなります。

一般職員の給与条例の一部改正

認定

は、人事院勧告に基づいて改正されましたが、町長・助役・収入役など常勤の特別職や教育長の給与条例、議員の報酬などに関する条例の改正では、特例措置によって三月の期末手当の支給率は現行の率に据置くこととしました。

認定案件では、九月の定例議会で認定された平成八年度の水道企業会計を除き、一般会計と五つの特別会計の決算を提出、それぞれ審議され、すべて原案のとおり承認されました。決算の概要は次頁に掲載しました。



平成8年度 決算報告

住みよい町の

平成8年度の町の一般会計・特別会計決算が、12月11日から19日まで開かれた町議会定例会で認定されました。平成8年度は、一般会計・特別会計合わせで145億4,968万円の予算で町の仕事がスタート、途中補正予算を組みながら、住みよい町の実現をめざして計画されたさまざまな事業がすすめられました。平成8年度の決算の概要をお知らせします。

表一3 平成8年度 特別会計決算総括表 (単位万円)

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	21億1,572	19億8,346
老人保健	21億5,467	21億3,414
フラワーヒル柿岡汚水処理	981	868
農業集落排水	7,062	5,625
下水道	3,120	2,760
計	46億4,920	42億1,013

●分担金負担金、繰入金、繰越金その他の内訳(万円)

分担金負担金 2億1,565

使用料手数料 2億8,260 繰入金 3億170

財産収入 1億6,387 繰越金 5億9,427

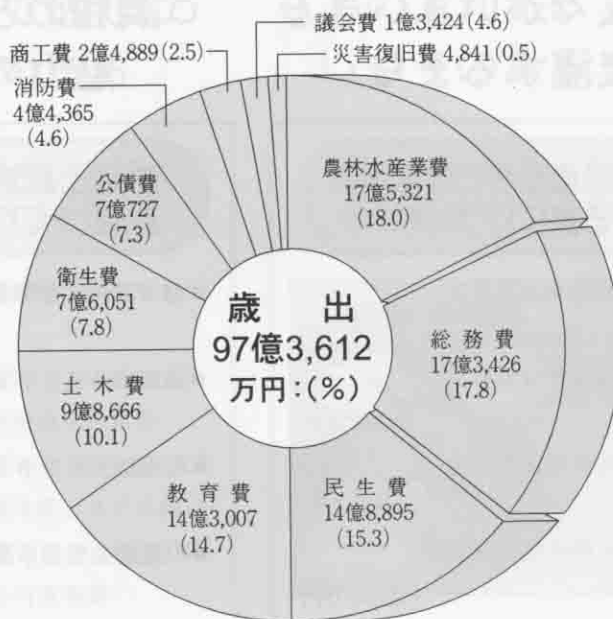
寄付金 215 諸収入 2億7,247

●地方譲与税等の内訳(万円)

地方譲与税 3億3,474 特別地方消費交付金 39

利子割交付金 3,448 自動車取得税交付金1億7,666

ゴルフ場利用税交付金1億617 交通安全対策特別交付金 856



監査委員の意見

(要旨)

7つの点に関して監査委員の意見がありました。

①不況による町税の減少など町の財政への影響もあるのでより一層効率的な予算執行と歳入歳出の均衡に留意した健全な財政運営により町民の生活向上に努められたい。
②町税の徴収率が極めて低い水準となっているので、納税義務の理解が得られるよう指導に努め、徴収方法を検討し、滞納整理にさらに努力されたい。

③国民健康保険・老人保健特別会計は、医療環境の変化を的確に把握し、収支の均衡に留意されたい。
④国民健康保険税の徴収率が大きく低下しているので、向上に努められたい。
⑤フラワーヒル柿岡汚水処理施設及び農業集落排水事業会計の健全な管理運営に努められたい。
⑥下水道事業の円滑な推進を図られたい。

町民1人に使われたお金は、315,000円でした。

一般会計目的
別に平成9年
3月31日の人口30,901人で
計算

農林水産業費
56,736円



農林業の振興に

総務費
56,123円



一般事務に

民生費
48,185円



福祉の向上に

教育費
46,279円



生涯学習や
学校教育に

土木費
31,930円



道路や排水の
整備に

衛生費
24,611円



健康づくりや
環境整備に

公債費
22,888円



借入金の
支払いに

消防費
14,357円



消防や防災に

商工費
8,054円



商工業や
観光開発に

議会費
4,344円



町議会の運営に

その他
1,567円



災害復旧などに

まちづくり

事業のおもなもの



○人々がいきいきと 交流するまち

心の豊かさと生きがい ある暮らしづくり

- 指導主事設置事業
1,039万円
- 教育振興対策事業
2,462万円
- 外国青年招致事業
1,128万円
- 小・中学校管理事業
1億188万円
- 小・中学校教材備品購入事業
3,431万円
- 朝日小学校屋内運動場新築事業
1億5,419万円
- 文化財保護顕彰事業
450万円
- 文化財記録映画制作事業
500万円
- 運動公園多目的広場改修事業
9,000万円



○調和のとれた 魅力のあるまち

生活と経済活動の 基盤づくり

- 都市計画推進事務費
2,485万円
- 道路維持補修事業
6,279万円
- 町道舗装新設事業
4,848万円
- 町道舗装整備事業
7,730万円
- 排水整備事業
8,865万円
- 資材支給舗装事業
2,150万円
- 一般町道整備事業
2億5,035万円
- 交通安全施設等整備事業
1,627万円
- 生活関連市町村道路緊急整備事業
1億5,888万円
- 片野・下青柳線道路整備事業
2,184万円
- 町道幹線単独道路整備事業
3,638万円

○安全で快適な 環境のあるまち

快適な 生活環境づくり



- 交通安全施設整備事業
527万円
- 合併浄化槽設置事業
3,568万円
- 防火水槽設置事業
2,027万円
- 消防ポンプ車購入事業
3,121万円
- コミュニティ防災資機材等整備事業
720万円
- 地域防災計画策定事業
906万円
- 緊急防災基盤整備事業
2,423万円
- 水道事業会計繰出金
2億2,000万円
- 下水道事業会計繰出金
2,112万円

住む喜び実感できる

平成8年度にすすめられた

○生涯を健やかに 過ごせるまち

心身共に健康で 豊かな生活

- 老人保健事業 3,224万円
- 母子保健事業 372万円
- 予防接種事業 1,870万円
- 保健活動事業 102万円
- 保健センター施設管理事業 1,575万円

○町民参加による 行財政の推進

対話と参加による まちづくり

- 広報紙、要覧の発行・広聴（モニター・対話・懇談会等）事業 1,904万円
- 庁舎周辺整備事業 1,484万円
- ふれあい交流事業 600万円
- 固定資産税現況調査事業 6,420万円
- 代替バス運行事業 726万円

○豊かで活力に 満ちたまち

産業の活性化で活力 あるまちづくり

- 水田農業大規模経営体育成モデル事業 1,258万円
- いばらきの米産地育成事業 1,024万円
- 農業経営育成生産システム確立条件整備事業 2,352万円
- 畜産再編総合対策事業 2,726万円
- 県単農道整備事業 8,145万円
- 県営ふるさと農道緊急整備事業 3,236万円
- 園芸施設整備事業 1,608万円
- 花き優良種苗導入資金貸付事業 2,000万円
- 転作助成事業 4,133万円
- 森林活用環境施設整備事業 4,975万円
- 林道開設・改良・整備事業 5,704万円
- 商工振興事業 750万円
- 観光施設管理事業 446万円

○心のふれあいと思 いやりのあるまち

安心して明るく暮 らせるまちづくり



- ねたきり老人短期保護事業 1,283万円
- 敬老会助成事業 1,679万円
- 老人保護措置事業 1億7,725万円
- デイサービス及び介護支援センター運営委託事業 3,503万円
- 地域ケアシステム推進事業 600万円
- 老人保健施設整備促進事業 5,000万円
- 身体障害者援護事業 5,884万円
- 保育所運営事業 5億1,455万円
- 社会福祉協議会事務委託事業 4,176万円

人権作文紹介

育てよう 思いやりの心

平成9年度土浦地区人権作文コンクールでこのほど、優秀賞に田口敬子さん（園部中）と込山めぐみさん（南中）が、佳作に駒村のぞみさん（南中）と中島美幸さん（柿岡中）が選ばれました。今回、その中から二作品をご紹介します。

現在、私たちのまわりには部落差別や女性差別、障害者や高齢者にかかわる差別、さらには、家庭内や隣近所とのめめごと、借地借家の問題などのさまざまな人権問題が起こっています。人権問題で困ったら、町の人権擁護委員（鈴木央さん、中田守文さん、吉田広司さん）へお気軽にご相談ください。

優秀賞

死ぬということ

園部中学校二年 田口 敬子



私は最近、いじめという言葉が聞かなくなった。一・二年前は、私たちがらの少年たちが、いじめを受けて自殺した。学校でも、校長先生や担任の先生たちから、いじめをうけて自殺した少年のことを聞いた。テレビや新聞でも大きく取り上げていた。私は、いじめを受けて死んでいった少年の気持ちに分かる。私もいじめを受けたことがあるからである。

私は、小学校五年から六年にかけて、二年間いじめにあっていた。もちろん、もう気にしていない。悔やんでもしかたないからだ。私は、何でいじめられなければならないのか、全く分からなかった。私が一体何をしたのか。何がきっかけで、そうなったのか。私は、分からなかった。

五年の一学期の頃だった。私は、A君の後ろの席だった。そのころ自分は、まだ気づいていなかった。いじめにあっていることを。

次の日、私はいつもどおり学校に行った。私はいつもみんなより来るのが十分以上早く、教室では

いつも一人で先に入っている。決まって後に入ってくるのがA君である。その時、私の横を通ったA君が「うわっ、気持ちわるい」と、私に向かって言ってきた。私は目の前が真っ暗になった。その、たった一言なのに。その日一日、私はずっと元気がなかった。

次の日、その次の日、毎日毎日言われたのだ。給食の時、掃除の時、私の横を通る時、いつも嫌な顔をして言われた。わざわざ遠回りして教室に入ってくる時も何度もある。そのやること一つ一つが、私の心に大きな傷を作っていたのだ。これだけではすまなかった。

ある日のことだ。AちゃんとB子ちゃんと帰ろうとしていたら廊下で「あいつに近づくと、菌がうつるぞ」と、男子が私に向かって言ってきた。（泣きたい。こわい。もう嫌だ）この三つの言葉が、私の中で動き始めた。

私は、男子全員に嫌われた。最悪だ。周りのみんなが、私から離れていくようだ。一人になるのは嫌だ。男子の目を気にして、先

生にはれないように気にして……。だんだん疲れてきた。ふと家に帰ると、なぜか台所に立っていた。『死にたい』いつの間にかこの言葉が、強く私の心の中に住みついていった（そう……。この際、死んじやえばいいんだ）と、私は思った。本当に死にたかった。でも、死ねなかつた。どうしてだろう。何が私を止めるのか。何で死ねないのか。後になって分かった。『勇気』がないからだ。悔しかった。自分に腹がたつた。でも、考えてみれば死なない方が良かったのかもしれない。お母さんに迷惑がかかる。家族みんなに悲しい思いをさせてしまう。死ぬということは許されないのだ。私はそう思った。私には夢がある。そうだ。私には夢があるじゃないか。くじけちゃだめだ。死んじやだめだ。生きるんだ。そう心に誓った。

私は少年に言いたい。どんなに

苦しくても、どんなにつらくても、死ぬのだけはやめてほしかった。とりのこされた人の気持ちも少しは考えてあげてほしい。少年、君には、夢がないのか。と。私が言っても無駄だけど、私はこう考える。

死ぬなんて、バカな考えはよそうと思う。私はこれからも、どんなにつらくあたられても、耐えていくつもりだ。私は弱くない。そう、強くなればいいんだ。

そして、中学校入学。A君と男子全員による『いじめ』は終わりに解放された。それからこの二年間、とても楽しく過ごしてきた。私は思っている。友だちもたくさんできて、明るくなり、自分に自信が持てるようになってきた。

確かに、いじめられている方は苦しい。だけど、それを乗り越えれば、違う自分が見つかるのではないかと、私は思う。

優秀賞

いじめをなくすには

南中学校一年 込山めぐみ



学校。本来ならば、みんなが楽しいはずのその学校で、今、多くの『いじめ』が発生している。ま

た、そのいじめが原因で、自ら命を絶つ人も後を絶たない。いじめとは何だろう。集団無視、

ひそひそ話、いやがらせ、金銭の強要、暴力……。こんなことを見たり聞いたり、実際に経験したという人は、決して少なくないと思う。「いや、そんなことないよ」と答える人は、どれくらいいるのだろうか。

私は、人を無視したこともあるし、人に無視されたこともある。人を無視している時、何だかとても楽しかった。相手が泣いたりしても、そんなことはどうでもいい。ただ自分が楽しければ、それで良かった。

逆に自分が無視された時は、文字通り「灰色の学校生活」だった。休み時間も、ひたすら終わりのチャイムを待ち続けた。一人でいるのがイヤでイヤでたまらなかったからである。

ある日、私の我慢にも限度が訪れた。先生に事実を全部話した。先生も全部知っていて、家庭学習のノートの中で、いろいろと私を励まして下さった。私は嬉しくなった。少し自信がついた。それまで、「早く四月になれば。クラスを替えて……」と投げやりだった私だったが、「先生も知っているのなら、解決の日に近い。いつか絶対、みんなと仲良くなれる」と前向きに考えられるようになった。それから時間がたち、私はみんなと笑い合うことができた。それ

まで灰色だった学校生活は、一気に明るくなった。本当に本当に嬉しくて仕方なかった。

私は、いじめとは、いじめめる人が主役だと思う。そして、いじめめる人はさびしい。「えっ？ そんなの違うよ」と言う人もいると思う。しかし、過去に身の回りで起こった無視やけんかを見てみると、全てが「いじめている人の『さびしい心』」につながるのだ。私も、初めは半信半疑だった。いじめめる人は、ごうまん、わがまま……という先入観があった。

しかし、いじめめる人の心はそんなに単純ではない。さびしさを誰にも伝えられなくて、誰かをいじめることによって、気分転換をしようとしているのだ。その「心のさびしさ」を消すことによって、いじめはなくなるのではないかと、私は自分なりに解釈している。では、心のさびしさをなくすには……。思いやりを持つこと。そして一人一人の個性を認め合うこと。みんなそれぞれ顔が違うように、みんな異なる個性を持っている。その人だけのすばらしい個性を、「変なの」などとけなしたりすることは、人間としても非常に恥ずかしいことだと思う。その人だけの個性は、大切にしなければならぬ。

実際、私の周りで、真面目な人

をからかうことがあった。真面目なことはとてもいいことなのに……。この「からかい」から、いじめが始まってしまった。

次に、いじめられる人。自分に原因があるかどうか確認してみるなり、先生、親、友達に相談するなりして、自分から解決していくとする気持ちを持つことが大切だ。確かに、いわゆる「チクリ」には、勇気が必要だ。いじめがエスカレートする可能性があるからだ。しかし、だまっていたら解決しない。自分が本当に信用して人に、相談するのがベストだろう。

こんなことを書いていいのかわからないが、最近、先生がいじめをしている人と一緒になっているという事件を聞いた。私はとても腹が立った。生徒の身になって、真剣に考えてあげられる人は、先生だけかもしれない。それなのに……。世の中、こんな先生ばかりだったら、日本の学校は大変だ。私の小学校の時の先生のように家庭学習や宿題のノートの中で会話をしてくれるのいいと思う。生徒と先生の信頼関係が築かれているクラスはまずいじめは起きないと思う。いじめは、絶対にしてはいけないことは一つもない。これから、いじめに出会ったときは、強い心で立ち向かっていこうと思う。

花と緑の楽園
M 茨城県 フラワーパーク

春を呼ぶ草花まつり



「花と緑の楽園」として皆様に親しまれている茨城県フラワーパークでは、2月8日から2月15日まで「春を呼ぶ草花まつり」を展示販売温室を中心とした会場で開催いたします。

まつり中のイベントとしては、2月8日から15日まで春の訪れを告げる草花（プリムラ類、パンジー、アザレア、サイネリア等）を多数展示し、来園者にひと足早い春を味わってもらう「春を呼ぶ草花展」。

また、2月8日の午後13時30分からは、春の草花の手入れや管理法などについての講話と実技指導の教室を参加無料で開催いたします。また、2月15日の午後1時30分からは、「春を呼

ぶ草花展」に展示された草花をオークション（競り売り）にて即売いたします。

その他、花の売店では、展示品と同種の草花や洋ランなどをお手頃価格で販売するほか、格安コーナーも設けておりますので、ぜひお買い求めください。隣接の「ふれあいの森」では、スポーツスライドやフラワーサイクルも楽しめますので、多くの皆様のご来園をお待ちしております。

なお、開園時間は午前9時から午後4時（入園は午後3時30分）までです。詳しくは ☎0299（42）4111 までお問い合わせください。

八郷の住まい探訪

(四)

かまど・いろり

古民家の広い土間には、大きなかまどがありました。夕餉時ともなれば、そのまわりであれこれと家族の会話が飛びかっただけでしょう。赤い炎は人の心をなごませます。多くを語らずとも、手をかざしているだけで気持ちが通じ合える様な雰囲気があるそこにはありました。かまどの火加減は、仲々にむずかしいものでした。上手く火がまわらずに煙にまかれた想い出もついでこの前のことの様です。

日常生活の中で、かまどは家の中心であったと言えるでしょう。古代社会では、家の数をかまどの焚き口の数で表現しました。かまどのことを、へつついとも称します。戸つ火、即ち家の火です。大事にすればこれ程に頼もしいものは無く、粗末にすればこんなにおそろしいものはありません。かまど神は、オカマサマと呼ばれます。大切にかまどの火を守る主婦に結びつけて、子沢山で、しかも控え目な神様とされています。

かまどの近くには、オカマ柱があります。オカマサマはこの柱に祀られました。古民家の沢山の柱の中で名前があるのは、この柱と

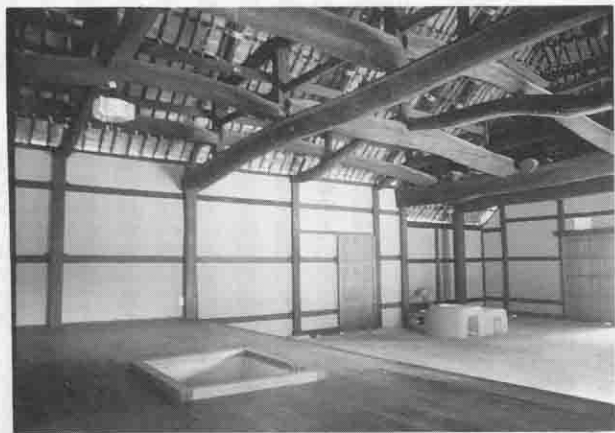
ダイコク柱の二本です。

そしてこの柱から床上部の方に延びる梁、即ちかまどの上方に架かる梁にはミズキが用いられたそうです。先年古民家を取り壊した人の話ではこの梁は大変に重かったそうです。ミズキは、山野に自生する落葉喬木で、早春の芽吹き時に地中から多量の水を吸い上げます。その名の通りですね。これをかまど上の梁に使用するの、当然ながら防火対策のためです。

さて、土間のかまどに対して、床上にはいろりが設けられました。かまどがもつばら炊事用であるのに対して、いろりの方は食事を暖めたり、湯を沸かしただけのために殆ど一年中使われませんでした。火種を消さないために、灰のかぶせ方に工夫をこらすのも、もつばら主婦の大切な役目です。一日の仕事を終えて、いろりを囲みながらの夕餉は家族全員が顔を揃えるひと時です。今日の出来事、明日の予定、様々な会話があつたでしょう。いろりを囲みさえすれば、家族の喜怒哀楽を共有しあえるという安心感。そして若干の緊張感。

この羽生さん宅のいろりには懐かしい思い出が私にはあります。十五年程前、つくばでの国際防災会議に参加した研究者の奥さん方をここにご案内した時のことです。ご主人が、このいろりに焚き木をくべてくれました。その暖かい火に手をかざしながらの会話は大いにはずみしました。大戸口からニワトリが駆け込んできたのです。各国の奥さん方が口々に、この雰囲気は自分の生れた故郷と同じです、と言いました。予定時間を大幅に過ぎ、次の予定を急遽変更することになりました。火は人の心を解放し、謙虚にします。あのかまどといろりを再現したいものです。町文化財保護審議会委員

一色史彦



旧羽生家のいろり・かまど

●最近気になる病気

歯周病

豊後荘病院

歯科 石上 敏幸医師



日常診療していきまして、初めて来院された患者さんに「どうしましたか」とお聞きすると、大半の患者さんは、「奥のつめものがとれました」「奥がしみます」「虫歯の治療がしたい」「入れ歯が合わなくなりました」とお答えになり、「歯周病(歯槽膿漏)かどうかみてください」という患者さんは殆どいません。

そのメインはブラーク(歯垢)です。歯周病を促進させるものとしては、喫煙、食事、入れ歯、全身疾患(糖尿病、血液疾患など)が挙げられます。

「この歯がグラグラしていて腫れています。抜かなければダメでしょうか」「うみがでて、口の中が臭い」「歯を磨くと歯ぐきから血が出ます」

歯と歯ぐきの境目に付着したブラークは歯肉炎を起こし、進行すると歯を支えている骨や靱帯といった歯周組織を破壊していきます。その結果、歯ぐきからうみが出たり、歯がグラグラしたり、腫れて痛みが出るといった症状が出てきます。

ブラッシング時の出血程度でしたらまだいいのですが、歯牙の動揺、排膿、腫脹を伴う症状がある場合には、歯周病としてかなり進行しており抜歯の適応となることも少なくありません。ある調査によれば、歯を失う原因の約半分が歯周病です。

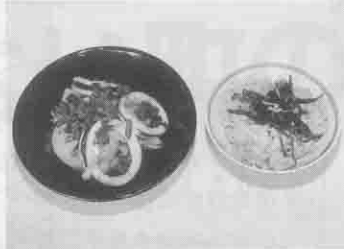
歯周病は通常慢性的に経過しますので、痛みや腫れのような症状を自覚しなくても数か月に一度は歯科医院を訪ね、適切なブラッシング指導、歯石の除去を受けられることをお勧めします。

成人病の一つにもなっている歯周病。原因は私たちの生活習慣と大きくかわってきます。

歯周病の予防にはブラッシングと歯石の除去がきわめて重要で、病状が進行している場合には、ポケットをきれいに(歯周病ポケットの深い所にある歯石や歯垢、不良肉芽組織の除去)したり、外科的に手術することもあります。

わたしの手料理

炊き込み鮭ごはん
イカわたこと大根煮



食生活改善推進員 吉田とし子（柿岡）

【鮭ごはん】●材料 米3合 塩鮭3枚 酒大1 こんぶ15cm ごぼうのさがき70g セリ・みつば・ゆず適量 A（酒大2 みりん大3 しょうゆ大3）●作り方①塩鮭を酒大1に5～6分つけておく。②米はといでザルにあげ20分位置く。③②と水（米の1割増しの分量からAの分量を引く）とAを入れ、その上にこんぶ・ごぼうのさがき・塩鮭をのせて普通に炊く。④炊き上がったら、鮭はとり出して骨や皮を除き、こんぶは千切りにして、さっくりと混ぜ合わせる。セリ・ゆず・みつばなどを散らす。

【大根煮】●材料 スルメイカ3杯 大根号本オイスターソース大3 酒大3 あさつき適量 サラダ油適量●作り方①イカはわたを取って置き、ぶつぎりにする。大根は米のとぎ汁で下ゆでしておく。②サラダ油でイカを炒め、大根を入れて、オイスターソースと酒を入れる。③蓋をして5分位煮たら、わたを入れ、煮含める。④あさつきを小口切りにして色どりを添える。



わが家COYU

柿岡

小松崎 達也ちゃん

父 幹成さん 母 さゆりさん
平成8年5月15日生まれ

家族からの一言

ヘリコプターや飛行機が大好き。毎日、かわいい片言で家族を楽しませてくれます。特技はいつでもどこでも眠れること。いつだったか廊下で寝てしまったことも。素直で元気に育ってくれたらと思っています。

農村資料館

八郷の民俗資料

②

かど
まつ
門松



正月の歳神は、遠くから人里を訪れる神であり、それは古くから祖霊信仰とむすびついて稲作を守る神としての性格がきわめて強い。

正月に家屋敷の門口（入口）かどぐち

に立てる飾り松を、一般に門松と呼んでいる。いくつかの正月行事を考えると、門松の意義は歳神が降臨する依代として代表的な聖域と言えるのであり、臨時に歳神棚を設け、床の間を利用して餅その他の供え物を上げるのは、歳神祭祀を補う行為と言える。門松という呼称は、所によって「御松様」とか「正月様」・「拝み松」・「年取神」・「門神様」とも呼ばれている。

正月は歳神を迎え祀る家庭祭祀の機会である。歳神に家内安全と五穀豊穡などを祈願することはもちろんであるが、門松を立てる場所については必ずしも門口とは限らない。つまり、ここにも歳神迎祀の形態に

地域差のあることが知られ、興味深い。

特殊な例をいくつかあげると、瀬戸内地方には山から迎えてきた松を屋敷内の清浄な場所に立て、これに注連を張り、枡に赤飯を入れて一晩だけ祀る所がある。秋田県南部地方では土間に三俵または五俵の米俵を積み、その上に松やユズリ葉を立て、神酒や鏡餅を供えて祀っている。門松と称しながら、竹や櫛、その他の木を用いている例も多い。新潟県沖の粟島では、松・葛・椿などを立てるが、家によって異なり、愛知県北設楽郡地方にも類似例が見られる。

門松を立てないとする所も多い。その場合、集落のなかの一族だけ、あるいは数軒にかぎって、その家では門松を立てない、あるいは正月に餅をつかないというしきたり（家例）を持っているものがあるが、これには先祖に関する種々の禁忌伝承が伴っている。

門松を取りはらうときは歳神の帰られることを意味する。一般に歳神の滞在期間は

大正月（元日前後）から小正月（十五日前後）のころまでとし、その間を「松の内」と呼んで一人一人に多くのありがたい霊威を授けてくれるものと信じられている。歳神送りの習俗も地域により暦の混乱によって多少の相違もあるが、おおむね十五日前後がもっとも多い。地域によっては、門松を取り除いた後も、松の先端を切りとって門松の立っていた穴に差し込み、年間をとおして歳神の加護を念じる習俗が維持されているが、これには幕藩時代のころにたびたび襲った飢饉と相俟って流行病も蔓延し、その魔避けの意味合いが濃い慣習のひとつとして現在にまで踏襲されているものと考えられる。

町文化財保護審議会委員

西宮 一男



さ ゆ き



真家 I・K (8)



山崎 本澤友子(23)



小見 荒木義行(8)



木崎 梨恵

みんなの ひろば

私も

ひとこと

毎

日、学校はとても楽しくてとても好きなのですが、多少の不満があります。その不満な事は「いじめ」です。やはり、うちの学校にもいじめはあります。「無視された」などの軽いじめなのですが、そのせいで学校に来れない人が三人もいます。私は一応学級委員なので、どうにかしたいと思っています。もしよかったらご意見を聞かせてください。

ペンネーム「LOVE」

◆「いじめ」は人それぞれ事情や受け止め方がちがう、対応もちがいますので、個人で解決することは難しいです。でも、思いやりを持った友達付き合いはできると思います。思いやりとは、自分が嫌だなと思うことを相手に

は、自分が嫌だなと思うことを相手に

平和な

たつぷりとした豊かな墨量で素晴らしい作品。

評 玄潮会 森 浩亭
柿岡小五年 小松崎 理奈

生き

大きく堂々として紙面一杯にかけました。

柿岡小三年 小松崎 絵理

私

は主人の会社の都合で八郷に引っ越してきました。十一か月の子どもがおりますが、こちらに友達は一人もいません。何かお母さんや同じ年代の子ども達とふれあう場所、又はつどいがないものでしょうか。

東成井 長谷川麻記

◆保健室では親と子の遊びの教室として、二歳児を対象とした「めだか教室」、三歳児を対象とした「ひまわり教室」を開き、毎年三月頃募集しています。しかし、一歳くらいのお子さんは

のつどいは今のところない状況です。保健室では一歳・二歳六か月・三歳・三歳の健康診査を実施しています。その時は同世代の親子も集まり、子どもが遊ぶコーナーもあります。また、子育ての相談なども受け付けていますのでご利用ください。

◆恋瀬地区中学生の皆さんからの俳句

○冬の夜たぐさんの星きれいだな

有明中一年 市村由香利

○冬の夜空を見上げて星探す

有明中一年 磯山あゆみ

○冬の空雲はひとつもないのかな

有明中一年 市村 佳代

○あちこちにつくしふまれのび上がる

有明中二年 関 沙矢香

○さくらちり校門くぐる一年生

有明中一年 塚田 智美

全問正解者のなかから
抽選で図書券が当たるよ

広報クイズ 118

3つの答えの中から正解を選び
ハガキに書いて送ってください。

①平成10年1月1日現在の町の人口は？

- (A) 30,964人 (B) 31,964人
(C) 32,964人

②平成8年度決算の一般会計歳入額は？

- (A) 103億422万円
(B) 104億422万円
(C) 105億422万円

③では、歳出額は？

- (A) 95億3,612万円
(B) 96億3,612万円
(C) 97億3,612万円

〔応募の方法〕

☆ハガキに広報クイズ118と書き、
答えの記号(例1-A)、住所、氏
名、年齢、世帯主と「私もひとこ
と」へのご意見や広報の感想など
を書いて送ってください。イラスト
やマンガも大歓迎。

☆全問正解者の中から10人に、図
書券をプレゼントします。

☆締切日 平成10年2月20日

☆応募先 〒315-0116 八郷町柿
岡5680-1 八郷町役場秘書広聴課

★当選者の発表 本紙3月号

〔広報クイズ116の当選者の発表〕

正解は1-C、2-C、3-Bでした。
応募総数41通、正解38通の中から
次の10人が当選しました。

三輪一馬(鯨岡) 海野顕(大増)
額賀涼子(上林) 足立芳子(小屋)
市村美幸(小見) 杉山はつ(柴間)
関きみ子(柿岡) 福嶋繁子(東成
井) 小貫昭(柿岡) 市村志つ(小
見) [敬称略]



月岡 菱沼和行(13)



大塚 竹林和徳



龍 神 帝 王

●やさと文芸

短 歌 吉田次郎

いたはられ励まされつつ永らへて重ぬる^{おとし}九十二歳
生きざまもいよいよたわいなくなりぬ起居^{たろ}振舞^{おどろ}ひ幼に似たる
人の道に外れることはするまじと九十余年を守りつつ老ゆ

俳 句 綿引鼓峰

余生^{こぞ}なを去年^{こぞ}今年なく小雑用
余生^{こぞ}いま則^{いま}天去^{あま}私や去年今年
願ひ事とてなけれども初詣

俚 謡 鈴木弦月

玉の肌にも小皺が増えて秋も深まる干大根
こほれ種子から見上げる松になつて過疎地の道しるべ
引いた大根野良育ちでも泥にや染まらぬ無垢な肌

あけましておめでとございます。今月は、選
者の皆さんの作品を紹介いたします。
来月からまた、皆さんの作品を掲載しますので
ふるって応募ください。お待ちしております。



毎年一月十五日に行われる成人
式。昭和四十年から四十六年まで
は鹿島神宮で行われていました。

やさとメモリー

「まち」の「話題」で「き」ごと

身近な出来事や地元の
話題をおよせください
(連絡先・秘書広聴課 内線一三四三)



ドライバーの皆さん安全運転を

年末年始のあわただしい時期にこそ、
ドライバーの皆さんに安全運転をしても
らおうと、交通安全街頭キャンペーンが
十二月二十二日、柿岡下宿交差点で行わ
れました。

当日は町、石岡警察署、交通安全協会
や女性ドライバー友の会の皆さんらが参
加。パンフレットなどを配りながら、ド
ライバーの皆さんに安全運転を呼び掛け
ました。

親子でオリジナルの凧作り

親子凧作り



公民館主催の親子凧作り教室が十二月
二十一日、中央公民館で開かれました。
講師の岡崎旭さんの指導を受け、まず
最初は凧の形に切り取った紙に絵付けを
していきます。みんな、人気のアニメキ
ャクターなど色とりどりの絵を書きま
した。そして、絵が乾いたら角棒やひも
をつけて凧を作ります。難しいところは
お父さんたちに手伝ってもらって、オリ
ジナルの凧が完成しました。
子どもたちはさっそく完成した凧を持
って、外で揚げてみました。最初はあま
りうまく揚がらなかった凧も、風向きに
合わせたり、しっぽの長さを調節するな
どして、じょうずに揚がるようになり、
子どもたちはひとしきり凧上げを楽しみ

ました。

また、公民館ではこの他にも親子で行
う講座として、クッキング教室を行
うクリスマスケーキを作りました。



親子クッキング

農林漁民美術展に 町から三人が入賞

第十一回茨城県農林漁民美術展
が十二月十一日から十五日まで、
県民文化センターで開催され、町
から次の三人の方が入賞しました。
○洋画 大枝恒雄さん(柿岡)
茨城県町村会長賞
○写真 滝田茂さん(柿岡)
茨城県農業会議会長賞
○日本画 潮田俊子さん(細谷)
茨城県森林組合連合会長賞

■訂正 広報やさと十二月号の「ま
ちの話題できごと」の中で、みた
ま踊りが国指定無形民俗文化財と
ありましたが、国選択の無形民俗
文化財の誤りでした。おわびして
訂正いたします。

ありがとうございます

○町社会福祉協議会へ健康まつり
売上金の一部五一、七四二円
町食生活改善推進員連絡協議会





大豆の収穫

集落ぐるみで転作達成に努力

東成井向原地内に、集落ぐるみで転作達成に取り組んでいる所があり、このほど大豆の収穫が行われました。これはことしから始めた試みで、およそ二ヘクタールの耕地に、「納豆小粒」という品種の納豆加工用の大豆を耕作したものです。平成十年度の町における水田転作等目標面積は七百十六ヘクタールで、昨年に

比べ百五十二ヘクタールの増となりました。町では個人や集団で転作した場合、加算金を交付する予定です。転作目標面積達成に皆さんのご理解とご協力をお願いします。

また、転作に関するお問い合わせは役場農政課（☎四三二二二一内線二二四五）へお願いします。

「かもめーる」特賞でマウンテンバイク

山崎の吉田東さんがこのほど、平成九年度暑中見舞いはがき（かもめーる）の特賞に当選しました。特賞賞品の「マウンテンバイク」の交付は十一月十二日に園部郵便局で行われ、吉田拓哉ちゃん（4）に手渡されました。

当選はがきは、同局で購入したもののうち、出に残っていたものだったそうです。吉田さんは「残っていたはがきは懸

賞にでも出そうかと思っていました。当選番号を見たら、ぴったり合っていたのでびっくりしました」と思わずプレゼントに大喜びでした。

現在、年賀はがきの当選番号も発表されていますが、使用しなかったはがきも番号の確認をしてみてもいいかでしょう。

新しい設備で消防力を強化

消防団は火災発生の時、最も頼りになる大切な組織です。そこで町では今年度、消防自動車一台と動力ポンプ二台を購入。各消防団への伝達式がこのほど、八郷消防署で行われました。

これによって、第一分団第一部に水槽

付消防ポンプ自動車が、第三分団第二部と第四分団第四部に小型ポンプがそれぞれ配置され、町の消防力が一層強化されました。

これらの消防設備は万全を期して、いざ火災という時に備えます。



ことは寅年。「竜虎相討つ」のたとえの様に虎は勇猛な動物として知られています。一方、「虎は千里行つて千里帰る」とも言われ勢いが盛んなこととともに、子孫を思つて千里の道を帰ってくる親の愛情の深いたとえにもなっているとか。また、特に白虎は天上の神のひとつとされ、東の青竜、南の朱雀、北の玄武の色にあわせ、相撲の四本柱（四房）として残っているそうです。虎にまつわることわざは結構あるようですね。「虎穴に入らずんば虎児を得ず」のことわざにある様に、勇気をもって進めば道も自ずと開ける。そんな寅年にしたいものです。

さて、今月の表紙は山腹から見た日の出を撮影しました。薄暗かった空がだんだんと明るくなり、東雲色に染まってきたかと思っていれば、雲の切れ間から金色に輝く太陽があつというまに出てきた、冬の夜明けはそんなふうに始まりました。しかし、目で見る感動の瞬間とは裏腹に、納得いく写真は撮れませんでした。がっかり。写真の腕はまだまだのようです。

（武）

未来へと清らかな水守るために

霞ヶ浦は、社会経済の発展に伴い富栄養化が進み、水質悪化が問題となっています。このため、町では県とともにあらゆる面で浄化のための取り組みを実施しています。農業者の皆さんも農業面からの霞ヶ浦浄化が一層推進されるよう積極的な努力をお願いします。



町の水田から流れ落ちる水は、恋瀬川や園部川を通して霞ヶ浦に注いでいます。町では浄化効果の高い施肥田植機を使っている田植えを進めています。写真はハロー施肥田植機。

霞ヶ浦は昔から人々の生活と産業を支え、多くの生物を育んできた貴重な財産です。

しかし近年、めざましい社会経済の発展に伴い、自然の浄化作用が破壊され、水質が急速に悪化してきています。

特に富栄養化の進行は、さまざまな環境上の障害をもたらし、このままでは霞ヶ浦の自然は破壊されてしまいます。

八郷町は、この霞ヶ浦に注ぐ恋瀬川と園部川の上流にあたり、あらゆる方面からの水質浄化に取り組む、より一層の浄化対策を推進していかなければなりません。一方、町の水田から流れ落ちる水は、この両河川を通り、霞ヶ浦に注いでいます。そこで農業面からの浄化対策を取り上げました。水質浄化のために皆さんの積極的な努力をお願いします。

(一) 水田・レンコン田の管理

①土壌分析診断を行い、適切な施肥及び土壌管理を行う。

②施肥は、肥料成分の流出しにくい側条施肥等の局所施肥や全層施肥等にする。

③肥料は、容出抑制効果の高い被覆肥料等緩効性肥料を使用する。

④代かきのためのかんな水はできるだけ少なくし、施肥直後は落水しない等の適切な水管理を行う。

⑤畔畔の保全を図り、水の使い過ぎを防止する。

(二) 畑・樹園地の管理

①土壌分析診断を行い、適切な施肥及び土壌管理を行う。

②良質な堆きゅう肥の土壌改良資材を用い、深耕、イネ化作物との輪作を中心とした健康な土作りを行う。

◆施肥田植機

導入促進特別助成事業

また、浄化効果の高い側条施肥田植機の導入を進めるため、次の特別助成事業を実施します。



清らかな流れを大切に。(恋瀬川源流付近)

①助成対象 営農集団

②助成対象田植機 乗用であつて五条以上の施肥田植機及びハロー施肥田植機（「代かき・田植え・施肥を一台で行う機械」）

③助成金額 本体の中に占める施肥部分取付費の五〇％以内
五条施肥田植機 十五万円
六条以上施肥田植機 十八万円
ハロー施肥田植機

三十万円以内
④その他 改良資金、近代化資金等との併用も可。転作達成者で構成する営農集団に限り該当します。

詳しくは、役場農政課までお問い合わせください。